Digital ESSAY

「そうめんバーンアウト」

坂口 裕靖

「ちーす」「ども。あれ、暗いね。どうしたの」「えーとですね、レイダースってご存知ですか？」「レイダース？失われたアーク？」「そうです、それそれ」「これ若い人知らないんじゃないかなー ... 時々テレビとかではやってるけど」「そうですか !? こんな名作を !?」「そうだよね、これってもうクラシックと言っていいよね」「当たり前じゃないですか、インディ・ジョーンズシリーズですよ！スピルバーグとルーカスですよ！ハリソン・フォードですよ！」「あー、もしかしたらそこいらへん、今の若いヒトにはあんまり刺さんないかもねー」「ジョーズが！未知との遭遇が！スターウォーズが！ ...THX1138がっ」「... 最後、ちょっといい淀んだでしょ」「とにかく！あんな傑作を知らないなんて人生の汚点と言ってもいいじゃないですか！必修でしょう、あのシリーズは」「まあねぇ、我々封切り当時から追っかけてた世代はまあそうだけど、今のこの環境で果たして必修というほどの引きがあるのかどうか ... そんで、レイダースがどうしたの？」「あ、そうでした。ほらあの作品の中で、黒い服装に丸メガネのゲシュタポいたじゃないですか」「えー、そうだっけ？」「ほら、マリオンのくだりで」「マリオン？」「あのですね、ほら飲み比べして勝っちゃう」「あー ... あれだ、飛行場でパイロットぶん殴った女のヒトだ」「そうです！そのほら、マリオンの家が焼かれちゃうシーン、覚えてないですか」「あー、あったね」「それに出てくるゲシュタポ、覚えてません？」「黒いやつ ... あれかな、最後ドロドロに溶けちゃうやつ？」「そーです !! そいつそいつ。トートって言うんですけど、ほら、燃え盛る炎の中から紋章を取り出すシーンあるじゃないですか」「んー、ああ、あったね。なんかすごく熱くて持てなかったやつだよね」「それですそれです！そいでもって、それが後のシーンで、やけどにより紋章のコピーができてるっていうやつです」「思い出した、そうだよね。あれも重要なシーンだった」「それなんです」「へ？」「やだからね、それなんですよ、今。」「紋章？」「違いますよ。

昨日なんですけど、台所でですね、そうめん茹でようとしてたんですよ」「あー、ここんところ暑かったよねー。食べたくなるわな」「そうです。そんでもって、そろそろお湯が湧き始める頃合いだったんで、茹で上げた後、今度はそれを冷やさなきゃいけないじゃないですか」「ちゃんと締めないといけないからね、用意するよね」「そうなんです。でも流しが狭くて、洗い物を入れたボウルが邪魔だったんですよ。だからこのボウルの置き場所を確保しようと思ったんです」「ふーん。まあでも、床とかに置けばいいわけでしょ？」「そ ... その知恵があっ

One Point BUZZ WORD

スライディングタックル

こないだ、家の近くの道路で、信号がない横断歩道の手前、停止線のところで止まったんですよ。というのも、先行車が停止したもんだから、横断歩道を塞いじゃいけないと思ってですね、ゆっくりブレーキ踏んで停まったんです。その数秒後、どかっバリッっという音が。ん？と思ってバックミラーをみると、なんかおじさんが駆け寄ってくるのが見えます。あれ、もしかしてなんかぶつかったか、と思ってハザードを点けて後ろに回ってみると、なんか某ピザ屋さんの三輪バイクが後部バンパーの下に横になって挟まってて、ドライバーとおぼしきヒトが一生懸命引っ張り出そうとしてました。また、傘を持ったおじさんが「いや、急ブレーキの音がしたんで駆けつけました」とのこと。自分も引っ張ってみたのですが、なんかバンパーのでっぱりに引っかかってるようで、ちょっとやそっとじゃ抜けそうにありません。時間は夕方、道の太さの割には交通量も多いため、このままここに置いとくのも問題があると判断し、まずは安全確保のためにバイクを車の下から引き出そうと考え、車に乗って前進しました。後部バンパーはバリバリッという悲しい音を立てましたが、バイクは問題なく抜けて、道路の脇に寄せることができました。相手と目撃者の方に確認して警察に連絡。相手方も店長さんを現場に呼び出して、なんやかや。後でドラレコを確認したら、どうもウチの車の一台後ろの車の後方にいたバイクが脇から前に出たところ、ウチの車が停止してるのに気づき、急ブレーキをかけると同時にハンドルを切ったらしく、横に倒れてスライディングタックルする形になったようです。幸い双方とも怪我はなかったのですが、ウチの xv ちゃんはまたもや修理送りとなりました。相手の保険でですが。ちなみに立ち会って頂いた警察官の方も xv 乗りとのことで、「燃料ポンプのリコール終わりました？」「いやーまだなんですよー」という話で盛り上がりました ...

たら … いや、台所が狭いもんで、床もあんまりスペースがないんですよ。一方でガスは３口あるんで、ボウルをゴトクに載せとこうと思ったんですね」「ふーん。まあそれはそういう考え方もあるかな」「でまあ、洗って乾かす意味でゴトクの上においてた、別の鍋があったんで、こいつをどかして場所を作ろうとおもったわけです」「ふむふむ」「こう手前が底辺の二等辺三角形に３つの口が並んでるんですけど、そのどかそうと思った鍋は、一番奥の頂点においてたんですね。一方で、そうめん用の鍋は右下の頂点においてました」「うん」「そいでもって、その一番奥の頂点にある鍋を、棚の上の鍋の下に置こうとしたんですわ。取っ手が取れるシリーズの鍋なんで、重ねておくとコンパクトになるんで。それで、左手で棚の上の鍋を持ち上げたまま、鍋を右手でひょいと掴んだんですよ。もちろん、手前のぐらぐら湧いてる鍋に近いところは熱そうだから、一番離れたところをつかんだんですね」「ははあ。だんだん読めてきましたよ」「… 読めないヒトがいますかいな。

そんで、ひょいと掴んで空中を 60cm ぐらい移動させたところで、いきなり人差し指と中指、親指がものすごく熱いことに気がついたんです」「やっぱり …」「もうね、『あっつ、あっつぅうう！』って最大音量が喉から出ていきましたよ。右手は明らかに火傷するほど熱い、だから今すぐ手を離したい。だけど、これだけ熱いものをそこいらへんに投げ飛ばすと、今度は二次被害を生むかもしれない。かといってこの温度のものを棚に置くと、今度は棚に影響が出そう。持ち変えるにも左手は別の鍋持ってててどうにもならない。というか、持ち替えたら被害が倍になる。というわけで、まずは次のコンマ何秒を使って左手の鍋を棚の上に置く、その間に右手の指がどんどん火傷してく、次のコンマ何秒かで持ち上げた鍋を元の位置に戻す、同時に右に振り向いて水道の蛇口を開ける、やけどした右手に流水をかける、その間お湯はぐらぐら煮立ってる、という具合で」「うわ〜、痛そうだね〜」「痛ったかったです、とっても。考えてみて下さい、聞き手の親指・人差し指・中指の一番敏感な指先をヤケドして、大変痛くてものを掴むどころじゃないんですよ。一方でそうめん用の鍋はぐらぐら湧いてて、見る見る蒸発してるわけです。

一方でゆでるためのそうめんは全然準備できておらず、それどころか流水から手を動かすわけにもいかないわけです。とっさにあの黒尽くめの丸メガネが頭をよぎりました」「あー … だからレイダースなのね」「です。結局そうめん茹でる鍋は一旦火を消して、とりあえずヤケドの対処に集中することにしました。今の時期、流水だとそこまで温度が低くないんで、氷で冷やすことにしました」「ほう」「これがですね、ヤケドしたところに氷を当てると、冷たいのはわかるし、痛みもだいぶ緩和されるんですよ。でも氷を手放すととたんにぎくんぎくん痛くなるんです」「あたたた … 聞いててなんか痛くなってきた」「仕方ないから氷を握っては溶かし、握っては溶かしするしかないわけです。そうめん食べるどころじゃありません」「はー … ヤケドはやだよね」「一瞬、野口英世の千円札が頭をよぎりました」「そんな酷いの !?」「いや、そこまでは … とりあえず、体温より低い温度にさらしていれば痛みはだいぶマシになるものの、離すと痛いというのが数時間続きました。いなばの白うさぎが頭をよぎります」「あれってさ、ワニに身ぐるみ剥がされたんじゃなかったっけ？」「いやまあそうなんですけど、よぎったんだからしょうがないじゃないですか」「あ、ハイ」「痛みの方は段々と弱くなっていって、９時間ぐらいしたら刺激しないと痛くない程度になりました。

そんで最初は親指、人差し指、中指と、手のひらの親指の付け根あたりがぎゃんぎゃん痛かったのですが、最終的に親指と手のひらは痕跡なし、人差し指はちょっと赤いところが残って触ると痛い感じで大したことありません。一方で中指は明らかに水ぶくれが２つできてて、前円後円墳みたいになってます」「メガネ型ってこと？」「あー、そうですね。そんな感じです。ほら」「あー。膨れてるね。うちのね、小学校の工程にあった築山がこんな感じだったよ」「そうなんですか？そんでこれ、触ると感触はあるんで、浅達性Ⅱ度（SDB）ってやつみたいですよ」「Ⅱ度のヤケドってことだね。野口英世はちょっとオーバーだったかなー」「よぎったもんはしょうがないじゃないですか。まあとりあえず、そこまですごいヤケドじゃなくて良かったです」「そうだね。そんでさ、これと黒服丸メガネってなんか関係あるの？」「いやまあ、熱いの掴んでギャー、ってとこ以外はスルーして頂いて」「なんだよ … まあでも、大事に至らなくて良かったね」「ほんとにそうです。というかですね、痛みが引いてみるとこれって肉球みたいじゃないですか。なんかこう、水疱ぷにぷにしてると、嫌なことも忘れられそうです」「で、そうめんは？」「結局、流水麺食べました」「ぶりんばーんばーんぼーん」

Hiroyasu Sakaguchi
フリー IT エンジニア